

令和4年(2022年)11月7日

北部大阪都市計画新船場北公園の廃止(素案)について パブリックコメント 実施結果公表

[案件の名称]

北部大阪都市計画新船場北公園の廃止について

[結果公表閲覧期間]

令和4年(2022年)11月7日(月)から12月7日(水)まで

[閲覧場所]

- ・市ホームページ
(アドレス : https://www.city.minoh.lg.jp/machi/senba_kitakouen/public_comment.html)
- ・みどりまちづくり部 まちづくり政策室 (箕面市役所 別館4階 49番窓口)
- ・行政資料コーナー (箕面市役所 別館1階 12番窓口)
- ・箕面市役所豊川支所、止々呂美支所
- ・総合保健福祉センター
- ・西南生涯学習センター
- ・中央・船場・東図書館
- ・みのお市民活動センター

[実施結果概要]

- ◆募集期間 令和4年(2022年)6月6日(月)から7月5日(火)まで
- ◆意見の件数(提出者数) 1件(1名)
- ◆いただいたご意見と市の考え方 次ページ以降に記載(ご意見は誤字、脱字を除き原文のままとしています。)

問い合わせ先 :

箕面しみどりまちづくり部まちづくり政策室
電話 072-724-6810(直通)

	いただいたご意見	市の考え方
1	<p>都市公園「新船場北公園（調整池）」の廃止は、先の新船場東公園（H28年）に続いての廃止。これで新たな文化拠点となる船場東地区から都市公園・緑の空間が消えていく。廃止の理由は、COM1号館跡地に建設する新市立病院用地の整備のため。</p> <p>そもそも市立病院の移転建て替え、都市公園の廃止について、箕面市は市民に対してどれほど情報を公開提供し、説明を尽くしてきたか？答えは「NO」である。</p> <p>市立病院（萱野）、萱野南図書館（船場西）の移転は、市の条例による番地変更から始まった。議会への十分な説明もないまま条例は上程され、市民への説明、意見交換することも無く病院、図書館の東船場地区への移転が議決された（H29年12月傍聴）。</p> <p>今回、新船場北公園の廃止は、新市民病院建設用地を含めて大きな問題を抱えている。現場の調整池はH30年6月18日大阪府北部地震、震度6弱によって内部擁壁が崩壊、南側歩道も大きく抉られる被害が出た。調整池から西側（新市立病院建設用地）は斜面となって広がり、有馬高槻断層など活断層が複層している場所である。このことは北急延伸にあたって国ぐるみの技術検討委員会でも論議され、大幅に支持補強が行われた。</p> <p>改めて問う。調整池の廃止と共に、新市立病院が建設地として相応しい場所なのかどうか。建設地は野畑断層が重なっており、土質調査、環境評価、現況測量などデータはどのようなになっているのか。市</p>	<p>新船場北公園については昭和47年の都市計画決定以降、長期間未開設の状態が続いています。当該公園の周辺は、業務・商業系の施設が大半を占め、当該公園の誘致圏域における居住者も少ないことや、周辺には他の街区公園が整備されており、当該公園に求められる機能は充足していることから、今般都市計画の廃止を検討しています。</p> <p>開設予定もなく長期間未開設の状態から、新市立病院用地として整備し、施設内に開放型のポケットパーク等を設置することで、様々な人が利用可能な公園機能が新たに創出されることとなり、公益性や快適性が向上するものと考えています。</p> <p>なお、新船場北公園は都市計画公園であります。現在未開設であることから、都市公園ではありません。</p> <p>また、新船場東公園については、船場地区の土地区画整理事業の実施に伴い、その機能を同土地区画整理事業区域内に新たに設置した船場広場に移転しました。</p> <p>その他、新市立病院の建て替えに関するご意見については、担当部局に伝えます。</p>

	<p>は市民に対しての説明責任を果たしていない。市民に命と安らぎを与える市立病院とするためには、きめ細かな情報公開と幅広いコミュニケーションが必須である。</p> <p>※6/10 船場生涯学習センターでの説明会、参加者は1人。</p>	
--	--	--